

### ■米国：カリフォルニア州、電気自動車向け補助金額の引き上げを検討

2018年9月26日の現地報道によると、カリフォルニア州（CA）政府は電気自動車（EV）に対する補助金を、現状の1台当たり2,500ドルから4,500ドルへと引き上げることを同州公聴会において検討する予定である。現在、連邦政府は自動車メーカーに対し、7,500ドルのEV向け税額控除制度を実施しているが、控除額はEV販売台数が20万台に達すると減額される。EV製造会社のテスラ社は7月時点で既に限度の20万台に達し、大手自動車メーカーのゼネラルモーターズ社も達しようとしているが、今後CA州の補助金が引き上げられればEV利用拡大につながるものとみられる。本補助金の財源は、CA州企業に課せられている低炭素燃料基準からのクレジットを充てるとしている。なお、CA州政府の実施する低炭素燃料基準とは、企業が化石燃料利用量の規制を課せられ、基準を満たせない場合はクレジット（排出権）を購入することを求める温室効果ガス排出規制制度である。